



よいことの
ために
手を取りあおう



RI 会長：フランチェスコ・アレツツォ

2620 地区ガバナー：稲葉 雅之

会長：齋藤 高子 幹事：植山 和人 会場監督：妻鹿 政光

例会：毎週金曜日 19:00 ~ 20:00

グランドホテル浜松 〒432-8507 浜松市中央区東伊場 1-3-1 Tel: 053-450-3003 Fax: 053-450-3006

E-Mail: hamamatsu-naka@ri2620.gr.jp

2025年7月25日（金） 晴 第1703回例会 週報 NO. 3

司 会：古賀孝幸 副会場監督
点 鐘：齋藤 高子 会長
ロータリーソング

「それでこそロータリー」
ソングリーダー 竹内公一さん
シェークハンド・タイム

ゲスト

RI 第 2620 地区

ガバナー 稲葉 雅之様
地区幹事 小川 嘉洋様



静岡第 5 グループ

ガバナー補佐 川井 啓介様
事務局長 栗原 伸夫様
事務局次長 内田 努様



ビジター

浜松志耀ロータリークラブ
衛藤 仁様



会長挨拶



今日は稲葉ガバナーに伊東からお越しいただいています。

今年度、私のメッセージとして事業計画書に「ロータリアンを味わおう」と書かせていただきました。いろいろな所に参加し、仲間で活動し、楽しいロータリーを味わっていただきたいと思っています。その一つとして、ロータリーソングをみんなで歌いましょう。近年入会の方は、マスクをしたり、黙唱したりでなかなかロータリーソングを覚えていただけないようです。

今日の歌は「どこで会ってもやあとと言おう」という歌詞ですが、私が入会して 1 年くらいの時、この出来事がありました。とある飲み屋で眞瀬さんと会ったのですが、離れた席から眞瀬さんが私に手を振ってくださったのです。すごく嬉しく感じました。今年はそんなロータリーソングを声高々に歌いたいと思います。

今日は稲葉ガバナーからお話を伺いますので、皆さんしっかりお勉強してください。

幹事報告

・アマモ見学会にご参加ください
・夏の家族会も多数のご参加、お待ちしております。

・次週理事会があります。
・次週は移動例会です。浜松磐田信用金庫で 12 時受付です。



スマイル

♪ 齋藤高子さん・植山和人さん
本日は稲葉雅之ガバナー、小川嘉洋幹事、ようこそ浜松中 RC にお越し下さいました。宜しくお願い致します。

ガバナー公式訪問

進行：植山和人 幹事

《ガバナー紹介》

* 川井啓介 ガバナー補佐
ロータリーの友 7 月号にもガバナー紹介が載っています。1964 年生まれ、61 歳。伊豆介護センター取締役。ボッチャの杉村選手のいる介護施設です。2009 年伊東西 RC 入会。躊躇わず「火中の栗を拾う」方だそうです。

☆ 稲葉 雅之ガバナー



私は今週から浜松に入って、中 RC で 7 クラブ目です。ずっと川井ガバナー補佐が同行してくれていますので助かりますが、同じネタの話（例えば丸く作る浜松餃子を「手に手つないで」のようだという話）はしにくくなります。

今年の「Unite for Good」、これは RI 会長のメッセージです。そこにはパートナーシップというキーワードがあります。仲間、横のつながりを大切にしましょう。エンドポリオ活動では、ゲーツ財団やユニセフと共同しています。この成功体験が仲間を増やすということに繋がります。また、単年度ではなく、前年度や次年度のリーダーと連携して行くことを意識してください。私たちが共に行動すれば世界を変えられます。

そして成長のための 3 つの柱、これがメッセージとともに唱えられました。革新、継続性、パートナーシップ。会員増強というのは昨今特に重要視されています。クラブのほかには衛星クラブや E クラブなどもあります。この広がりをもっと作りましょうということです。また趣味活動を同じとする方たちのクラブがあったり、奉仕に特化したクラブもあります。

これに対して私はこう返したいです。まず「ロータリアンから始めましょう」。手を取り合うのはとても良いことだと思いますが、なかなかその機会は訪れない。私たちは自ら進んで手を差し伸べましょう。私はこれを地区に活かしたいと思っていますし地区大会のテーマにも添えています。今年の RI 会長、アレツォさん、決まったのは先月です。実は 2 月の国際協議会の時はブラジルのマリオさんでしたが、急遽辞任され、世界中に衝撃を与えました。RI 会長がこんな辞め方をすることはなかったと思いますが、マリオさんのメッセージは引き継がれました。アレツォさんはイタリアのシリアのロータリアンの人で、これまでも RI の理事として活躍してきました。マリオさんは今でもロータリアンとして地域活動をしているということです。

RI 会長は今までは「テーマ」を

発表してきました。でもそれは 1 年限りで、1 年で完結させるのは不合理でした。そこで、軽いメッセージという形になりました。

日本のロータリーでは 4 つの優先事項が定められています。「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的なかわりを促す」「適応力を高める」。これを活動の基盤としましょう。

地区大会は 12 月 6・7 日。6 日は川奈ホテルで、7 日は伊豆ベロドロームで行います。ここは東京オリンピックの自転車競技会場で、アトラクションにプロの自転車選手に走ってもらう予定です。

また、国際大会は台北です。地区ナイトも行います。

地区の課題は財政です。会員数が減少し、会費収入が減る一方で物価が上昇しています。そこで地区資金を年間 1 千円値上げしました。月にして 100 円弱です。

財政難としてもロータリアンとしては奉仕の質を落とすとはありません。質を向上させながら、経費を削減する。効果も考えて工夫していきましょう。

今年度新しい試みとして「会社 de ワクチン」を始めます。2000 円の寄付でマグネットステッカーを 1 枚。原価を引いてクラブの募金とします。ステッカーは会社の車などに貼って、世間に知ってもらい、かつ街頭募金より効率よく集められるのではないかと思います。古着 de ワクチンも今まで通り続けます。



何故、ポリオが根絶できないかというと、紛争地帯があり、ワクチンを届けるのが難しいからです。紛争がなければ、平和であれば根絶できるのです。まず、平和であることが重要です。

最後にロータリーに入会して良かったこと。それは米山梅吉翁の

ことばです。「ロータリーの例会は人生の道場、人づくりの修練の場である」。この言葉に共感を覚えました。奉仕は満足感でなく、これによって人生の幅が広がります。

ロータリーの魅力は人それぞれ。居心地のよいようにしてもそれが裏目に出ることもあります。ある程度の規律と入会時のしっかりした説明、これが大事です。一緒に楽しんで、ロータリーを味わいましょう。

《ガバナー補佐挨拶》



ガバナー補佐の仕事はガバナー公式訪問の同行、合同奉仕と IM、地区とクラブをつなぐことです。第 5 グループの現状を把握し、会員増強につながるよう運営をサポートします。皆さんには地区の RLI の参加することをお勧めします。ロータリーを知り、やる気になり、クラブが活性化します。



出席報告

発表：寺田朋広 出席委員

会員数	38名
出席者数	22名
出席算定会員数	32名
出席率	68.75%

前々回出席者数
28名
前々回出席率
90.63%

